

小規模ビールの増産体制構築と 常温保管実現による販路拡大事業

当社のビールは高価格、要冷蔵で流通が困難であった。本事業で機械化および常温流通を可能とし、価格の適正化と地ビールの流通革命を起こすことで、販路拡大を実現する計画である。

取り組みの背景

当社は、平成9年に六甲ビール醸造所を開設し、それ以来六甲の銘水を使った地ビール製造ひと筋に事業を営んできた。しかし、他社製品に比べ割高であること、常温保管ができないこと、営業活動や新製品開発を積極的に行っていなかったこと、などから事業の成長が芳しくなかった。一方で、消費者の嗜好の多様化、地ビール市場の拡大など当社を取り巻く外部環境も大きく変化しつつあった。

取り組みの内容



【醸造発酵設備のタンク類】

今般の事業では、①生産能力の確保および生産性の向上②常温長期保存対応という2つの大きな課題を解決するための設備投資を



取締役の学氏は、自社の持つ可能性を引き出し、成長軌道に乗せるべく事業の構造改革に着手し、2011年からの5年間で対前年比伸び率平均31%を実現した。今後、一層の飛躍を果たすためには、瓶製品の充実および常温保管製品の増産が不可欠と判断し、生産能力の拡充を図るべく今般の事業実施に至った。

行った。①については、生産量拡大のために、仕込み用タンク、発酵タンク、貯酒用タンクを増設した。タンク類は、小規模プラント用のものは国内では製造されておらず、欧米のビールメーカーが使用しているものと同仕様のものを輸入した。

さらに、温度管理を徹底するために、タンクを冷却するチラーや冷蔵庫、加熱殺菌機や醸造設備を加熱する貫流式ボイラー等も完備した。また、自動充てん機を導入し、瓶の洗浄、ビールの充填、王冠の打栓、ラベル貼りまでの工程をすべて自動化した。②については、熱殺菌により風味の劣化を防ぎつつ長期保存を可能とするため、瞬間式加熱殺菌機を導入した。

当社の強み

- 1 安定した品質で他にない味や香り、風味を醸成できるノウハウと技術力
- 2 柔軟かつ機動性に富んだ事業開発力と一貫生産体制
- 3 少数精鋭の若く、優秀な人材の存在

事業の成果



【製造ライン】

生産能力強化と品質安定化の実現

仕込み、発酵、貯酒の各タンクを増設したことにより、年間生産能力が従前の約4倍となった。さらに、自動充填およびラベル貼付機の導入により工程数が半減し、大幅に生産性が向上した。また、これまでは、多くの工程が手作業であり、雑菌混入防止や酸素除去が不十分であったが、工程を機械化することで、それらの課題が一掃された。さらに設備そのものの衛生レベルが非常に高いことも相まって品質が格段に向上、安定し、加熱殺菌せずに常温流通を可能とする技術も確立できた。なによりも、機械化により従業員の作業負担が軽減され、精神的な余裕が生まれたことで、製品の改良や作業の改善に前向きに取り組めるようになったことが品質向上の大きな要因となっている。



【工場併設タップルームのビールサーバー】

ブランド力の向上による販路拡大と顧客支持の獲得

製品の安定供給および品質の向上と安定が実現され、軌道に乗ることで、順調に新規取引先の開拓が進み、一般顧客からも高い評価を得つつある。東京などの遠方からわざわざ当社を訪れるリピート顧客も存在し、SNS上でも話題になりつつある。これまで、地元観光地のお土産店等での販売が主であったが、積極的に地道な営業活動が功を奏し、大手百貨店や高級食料品スーパー、リカーショップ等からの引き合いが増え、出荷量も当初の5倍となった。さらに、当社が業況を拡大することで雇用が創出されるとともに、神戸、六甲の名前を製品に冠することによって、地域ブランドの認知度向上やイメージアップに貢献するなど地域活性化に資する効果も大きい。

企業概要

有限会社アイエヌ インターナショナル

- 事業内容:ビール製造・販売
- 主要生産設備:ビール製造プラント

設 立 : 平成1年9月12日
代 表 者 : 代表取締役 中島 郁夫
所 在 地 : 兵庫県神戸市北区有野町有野字森下164-1
T E L : 078-981-2130
E - m a i l : info@rokko-beer.com
H P : https://www.rokko-beer.com/
従業員数: 9人(令和2年12月現在)
資 本 金 : 2,100万円

取締役の声



専務取締役 中島 学氏

より多くの方に、多様なビールの味を知って楽しんでもらいたい

今般の設備投資により、安定した品質の製品を自信をもって供給できる環境が整い、父の代からの夢である神戸地ビールの事業がようやく形になりつつあります。神戸に戻り8年、自分の思いで仕事ができること、山と海に囲まれた町、生まれた町神戸で仕事ができることをとても幸せに感じています。これからは、より多くの方に多様な風味のビールを知り、楽しむ機会をどんどん提供していきたいと思っています。ビールづくりに正解はありません。六甲ビールは、これからも果敢に試行錯誤を続け進化してまいります